

北海道医療大学・札幌市立高等学校8校 「高大連携に関する包括協定書」調印式



札幌市立高等学校8校と高大連携に関する包括協定を締結【関連記事5ページ】

これからの薬学教育について



薬学部長 和田 啓爾

今年4月1日付で薬学部長を拝命いたしました。長年にわたり先人が築き上げてきた薬学部の輝かしい業績をさらに発展するために微力ではありますが、努力する覚悟でございます。さて、薬学教育は4年制から6年制へ移行し、教育内容は大きく変化しました。社会的ニーズに対応し、従来の学術的色彩の濃い教育から、医療現場を強く意識した医療人育成を重視した教育への転換です。この教育を具現化するために、教員の6分の1以上の実務家教員(臨床現場で5年以上の実務経験を有する)を配置し、薬学教育に臨場感のある教育ができる環境を構築しました。また、教育プログラムでは、6年間を通して態度教育を重視し、相手を思いやる心をもった医療人になるように種々の授業科目に多様なシーンを設定し、コミュニケーション能力を向上させる取り組みを実践しております。その成果は、卒業時の学生諸君の姿を見れば納得していただけると思います。また、高度医療に対応できる幅広い知識の習得とそれを

基盤とした技術、処理能力の向上も重要であり、その成果は、6年制教育初の国家試験において、高い新卒者合格率(95.9%)並びに学校別平均点でも全国の上位に位置し、教育内容も充実したものであることが証明されております。とはいえ、昨今の学力の多様性を背景に、すべての学生の学力を一律に向上させることは難しいのが現状です。そこで昨年、「薬学教育支援室」を設けました。専任教員(教授1名、講師2名)が面談により学生の特徴を把握し、個別に教育指導するシステムです。開設後、思いのほか需要があり、多数の学生が利用しています。この指導により、自力で学習できるようになり自信を持った学生も多いと聞いております。このように、本学では、学生個々人の能力に合わせた柔軟な教育システムで、社会のニーズに対応できる幅広い能力を持った医療人の養成に努めており、今後のさらなる発展を目指しております。

CONTENTS

これからの薬学教育について	1
リハビリテーション科学部の新設と 本学の将来構想について	2
新任教員・昇任教員紹介 Student Campus President 決定! カナダ・アルバータ大学語学研修レポート	4
高大連携に関する包括協定を締結 台北医学大学の表敬訪問 中央講義棟増築工事安全祈願祭 学園都市線電化開業に伴う記念式典に参加 「学生ボランティア事業」協定を締結	5
2013年度入試概要	6
2013年度歯科衛生士専門学校試験概要 2013年度編入学試験概要 2013年度大学院入学試験概要	7
授業レポート	8
私の学生時代	9
OG訪問[看護福祉学部臨床福祉学科]	10
STUDENTS' ACTIVITIES & EVENTS 新菌種「ペイロネラトウベツエンシス」発見 千歳JAL国際マラソンで歯5年大井さんが優勝	11
TOPICS ○九十九祭で「ニッポン全国特産品市」開催 ○学校法人東日本学園後援会支部長会議開催 EDITOR'S NOTE	12